

地域まちづくり基本計画(案)		地域まちづくり実施計画(案)	
目指す方向	まちづくり目標と成果指標	まちづくりの活動	事業計画案
4 共に生き、共に創る地域の創り出し	4 地域で支え合うあたたかいまち ◆コメント：あいさつや声掛けで作るコミュニティで、他人(ひと)を思いやる心やお互いに支え合う信頼関係を育み、地域活動やボランティア活動による連帯・連携の輪を広げ、災害に強く犯罪のないまちにします。 ●成果指標：地域で支え合っていると感じている人の割合。	09 地域の人たちの連帯感と信頼関係醸成活動の推進 10 ボランティア活動の推進 11 六会日大前駅周辺のにぎわいの創出 12 地域の目と声で創る防犯活動の推進 13 ともに助け合う災害への備えの充実	事業内容 六会地区の自治会加入率は76%で、自治会活動への参加者も少ない。この状況を改善するため、身近なマップ・防災情報に加えて、自治会活動を紹介する情報を掲載した冊子を作成配付し、地域の連帯感や信頼関係の強化に繋げる。 高齢者、障がい者等の家事支援、生活支援、生きがいづくりの支援等を行うボランティアセンターを設立し、運営にあたっては、ボランティアの担い手(支援者)と受け手(利用者)また賛助者を組織化する。また、当ボランティアセンターでは、その事業のひとつとしてボランティアの育成を行う。 六会に住む住民の多くは、娯楽や買い物など利便性が高い湘南台や藤沢に行く傾向が強い。六会駅周辺の賑わいを創出することは、この現象に歯止めをかけ、まちの活性化に繋げることができ。具体的には、魅力的には、魅力あるイベント等を開催することで地域活性化の起爆剤にする。 自治会連合会防犯協会の現状活動の維持を依頼する。警察からの情報を発信依頼する。 自治連及び防災リーダー会と相談して全自治会に防災規約策定。防災組織の確立と要援護者対策(連絡網の確立)設定。 災害時、一時避難所に指定されている公園に要援護者や障がい者を安全に避難させるために、公園出入口の段差解消のバリアフリー化を実施し、災害時に備える。 引地川で捕れた魚が食べられるよう、引地川の源流から江ノ島までの全域にわたる改善や、行政・NPO団体・ボランティア・地域団体が協働して、産業排水、生活排水の引地川自然環境向上事業 16 引地川自然環境向上事業 17 石川丸山谷戸保全事業
	5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	5 豊かな自然と文化を守り育てるまち ◆コメント：六会の緑豊かな自然、名所・旧跡は先人が遺した貴重な財産であり、これを大切に守り、次の世代へ引き継いでいきます。 ●成果指標：自然と文化が大切にされていると感じている人の割合。	14 自然、景観の保全 15 文化的史跡の保全 16 Eコマウンむつあいの実現 17 住民による自主清掃活動の推進 18 地域の美化活動の推進
6 地球温暖化防止など地球環境への投資	6 みんなでつくろう きれいなまち ◆コメント：緑いっぱい、花いっぱい、きれいな街並みは六会の夢と希望です。みんなを取り組むエコ活動は六会から始める地球温暖化防止への第一歩です。 ●成果指標：きれいなまちであると感じている人の割合。	16 Eコマウンむつあいの実現 17 住民による自主清掃活動の推進 18 地域の美化活動の推進	六会地区では、地域の目と声で犯罪抑止のため、防犯パトロール等を実施しているが、さらに、地域活動を発展させるため、防犯のLED化事業を行い、照明効率・光度のアップを図り、地域の目による犯罪抑止を目指すと共に省電力化でエコタウン化にも努める。日本照明器具工業協会は今後5年を目標に規格統一や低価格化を目指すことなどのことなでそれに併せて事業化を図る。 地区内企業・商店と連携してエコパックの活用によるレジ袋の廃止に向けた活動を行い、ゴミのリサイクルの促進とゴミ減量への意識向上の突破口とする。 自治会・町内会が主体になって行う、定期的な地域清掃活動を定着させることを目的に実施する事業である。自治会・町内会を単位として共同作業することで、地域のコミュニケーションや連帯感を深めることに繋がる。 花を愛する地域ボランティアが地区内の公園・小学校・保育園・老人ホーム・護国学校等で花の植栽活動を行い、ふれあいを深める。また、平成25年度からは美しいまちづくり活動を効果的に推進するために「庭自慢・花自慢・フォットコンテスト」を行う。これらの活動を地道に続けることは、地域の連携強化に繋がる。花の植栽活動に加えて行う「庭自慢・花自慢・フォットコンテスト」は年間を通して開催を予定しており、10月の「ふるさとまつり」の際に人気投票を実施する。